

## 自律型エアタクシー

By: ラピッド・アクセス・インターナショナル株式会社

2021年4月1日

エアタクシーは、オンデマンドで短いフライトを行う小型民間航空機です。20年前、航空タクシーの運航は、潜在的な小型航空機輸送システム(SATS)とライトジェット航空機製造の台頭に関する NASA と航空宇宙産業の研究によって米国で最初に推進されました。2016年以來、航空タクシーは、旅客ドローンなどの個人航空車両の急成長分野の一部として再登場しています。

12

### エアタクシーに対する現在の期待

今日の電気エアタクシーは大きな前進を遂げており、早ければ2023年に時速100~180マイルの速度で米国の都市の上空で運行されている可能性があります。ほとんどが完全に電気で、1~4席を持ち、滑走路の必要性を排除する垂直離着陸(VTOL)機能を誇っています。<sup>3</sup>

Lyft や Uber のようなライドシェアサービスとほぼ同じ方法でスマートフォンアプリを使用して、人々が市内の通勤のためにエアタクシーを呼び出すことができるかもしれないと考えられています。この種のサービスに関連する技術的および商業的な課題に加えて、無数の規制上の課題もあります。連邦航空局(FAA)は、航空タクシーが操縦されているか自律的であるかにかかわらず、運用基準の開発に密接に関与します。それにもかかわらず、投資家やスタートアップに対する期待は高く、2040年までに1.5兆ドルの価値がある市場の見積もりがあります。<sup>4</sup>

### エアタクシー会社

カリフォルニア州に拠点を置く3社は、米国で大きな進歩を遂げています。

サンタクルスに拠点を置くジョビー・アビエーションは、トヨタから約4億ドルを受け取り、昨年末に Uber 独自のエアタクシー部門である Uber Elevate を買収した。2023年に商用旅客サービスの運航を開始する計画。<sup>5</sup>

---

<sup>1</sup> SATS:大胆なビジョン。2001年 NASA. で利用可能:

<https://www.nasa.gov/centers/langley/news/factsheets/SATS.html>. 2021年5月6日にアクセス。

<sup>2</sup> 飛行機のタクシーは、都市の周りの人々を吹き飛ばすために離陸しています。2019年9月14日エコノミスト。利用可能な時間: <https://www.economist.com/science-and-technology/2019/09/12/flying-taxis-are-taking-off-to-whisk-people-around-cities>. 2021年5月6日にアクセス。

<sup>3</sup> イト、ロバート。エアタクシーをあられ! 2021年4月6日アルタ。で利用可能

:<https://www.altasonline.com/dispatches/a35588123/electric-air-taxi/>. 2021年5月6日にアクセス。

<sup>4</sup> 同上。

<sup>5</sup> 同上。

パロアルトに拠点を置くキティホーク社は、グーグルの共同創設者ラリー・ページと国防総省の防衛イノベーションユニット(DIU)の支援を受けています。<sup>6</sup>ヘビーサイドと呼ばれる自律型航空機は、時速 180 マイルの最高速度で他の航空タクシーよりも速いです。また、標準的なヘリコプターよりも 100 倍静かであると考えられています。それは 1 のための空中の「ライドシェア」になります。現在、目標発売日は明らかにされていない。

マウンテンビューに拠点を置くウィスクは、キティホーク社がコーラ機をスピンオフし、ボーイングと合併会社を設立した際に結成されました。NASA はまた、自律型航空機の開発を目標とする連邦機関の高度な航空モビリティ国民キャンペーンの一環として、このベンチャーに貢献しています。<sup>7</sup>

### 初の自律型エアタクシーとしてのウィスク・エアロ

ウィスクエアロの意図は、そのコーラ航空機で、自己飛行タクシーで市場に最初になることです。ラウトと移動距離に依存する価格では、Uber Black と同等の価格を設定するという考え方です。

このため、ウィスクエアロは最近、米国で自律航空タクシーを運行する最初の契約を締結しました。同社は、ブレード都市航空モビリティネットワークを通じて提供される最大 30 機の電気<sup>8</sup>Vertical 離陸および L および A-Ing(eVTOL)航空機を所有、運用、および維持する。ウィスク航空タクシーの配備は、商業運転のために航空機を認定連邦航空局に依存しています。<sup>9</sup>

ブレードは最近、2025 年から 20 のパイロット eVTOLs の運用のために、別の会社ベータテクノロジーズと契約を結んでいました。これらの航空機とは異なり、Wisk eVTOLs は自律的に飛行するように設計されています。彼らは 25 マイルまで 2 人の乗客を運ぶことができます。

### 今後の取り引き

言及された企業との動向は非常に速いペースで動いているようです。技術的、商業的、規制上の課題にもかかわらず、これらの課題のそれぞれが克服されるようです。関係者は、関連する

---

<sup>6</sup> 同上。

<sup>7</sup> 同上。

<sup>8</sup> ルポー、フィル。ボーイングの支援を受けた新興企業ウィスクは、米国で航空タクシーを運航する最初の契約を締結しました。2021 年 5 月 5 日 CNBC. で利用可能:

<https://www.cnbc.com/2021/05/05/boeing-backed-start-up-wisk-inks-first-deal-to-operate-air-taxi-in-the-us.html>. 2021 年 5 月 6 日にアクセス。

<sup>9</sup> 同上。

企業や政府機関の全範囲に及びます。この市場で投げられる資金や専門知識の欠如はありません。

前述のように、市場と機会は巨大になる可能性があります。そして、おそらくより保守的な見積もりであれば、デロイトでさえ、旅客と貨物の eVTOL は 2025 年までに 40 億ドル、2035 年までに 570 億ドルの市場になると述べています。これは、私たちが取り上げた最も速く発展しているトレンドの 1 つかもしれません。<sup>10</sup>

---

<sup>10</sup> 同上。